

館山市教育委員会第4回臨時会会議録

- 1 開催日 平成24年10月17日(水) 開会 午後1時30分 閉会 午後1時52分
- 2 開催場所 教育長室
- 3 出席委員 委員長 大澤光彦
委員長職務代理者 大和地紀昭
委員 半澤美緒子
委員 清本智美
教育長 出山裕之
- 4 出席職員 次長 鈴木千佳士
教育総務課長 藤平誓志
学校教育課長 池田俊郎
学校給食センター長 吉田勝幸

書記 蛭田広美
- 5 議事 ①議案第52号 平成24年度補正予算の調整について
- 6 公開・非公開の別 公開
- 7 開会宣言 委員長
- 8 審議事項
委員長 議事に入り、
議案第52号 平成24年度補正予算の調整について上程
学校教育課長 議案朗読説明(緊急雇用創出事業による補正。社会問題となっているいじめ問題について館山市教育委員会としていじめの防止・早期発見・解決を行うため、いじめ相談室を設置する。いじめ問題に対応できるいじめ問題アドバイザーを非常勤職員として採用。週3日を2人で対応。窓口はコミュニティセンター、市内の小中学校におけるいじめ相談に対応。対象は、子ども・保護者・地域の方・教員など。相談者からの電話相談や訪問相談等を行う旨の説明)
大和地委員 今後人数を増やす予定はあるのか。
学校教育課長 とりあえず、2名で対応する。状況を見ながら、平成25年度は市の単独事業として計上する予定。
半澤委員 窓口は予約制なのか。
学校教育課長 まずは電話で。来庁してもいい。相談の内容に応じて対応する。

次 半澤委員	長 員	電話はフリーダイヤルで対応。 これまでのいじめ問題の対応は、人権擁護委員だったようだが？実際子どものいじめに関する相談はあったのか？
学校教育課長		ほとんどない。学校の中で対応してきた。いじめ相談室を設置することにより、気楽に相談できる状況を作りたい。
次 委員	長 長	人権擁護関係は、どちらかというDVが多い。 家庭児童相談員はどうか？
次 半澤委員	長 員	子どものネグレクトや児童相談所との連絡を行う。 社会教育指導員や家庭教育相談員はどうか？
次 委員	長 長	社会教育の指導や、家庭教育の指導をPTAの方に指導する。 いろいろ種類があって迷ってしまう。
教 育	長 長	子どもたちや保護者にPRし、いじめを焦点化した内容の窓口にした い。
半澤委員		アドバイザーは専門の知識を持った方があたるのか？
学校教育課長		文科省で示しているのは、大学教授・弁護士・臨床心理士・警察のOB。館山の場合は、警察官のOBを中心に考えている。
教 育	長 長	アドバイザーにふさわしい人の情報があったら、是非教えてほしい。
全 委 員	員 長	承認
委員	長	議事終了、その他について
学校給食センター長		給食の自粛から再開について説明 ・10/4 三中生徒の多数が腹痛を訴え、原因がわからない中、給食の自粛を決定 ・給食の停止は、保健所の指導・命令によるものではなく、あくまでも自粛 ・結果は、新聞報道等により検便で黄色ブドウ球菌が検出されたが、その原因は特定できず。学校給食における食中毒ではなかった。 ・給食の再開に時間を要したのは、詳細な検査を行ったため。 ・念のため、薬物検査を行ったが、問題となるような薬物検出もなし ・報道で「食中毒の疑い」という記事があり、集団食中毒を連想させるものであると考えられるが、実際に食中毒様の症状があった生徒は数名であるのが実態。 ・事件性について、給食が生徒の手に届くまでは、配膳のパート職員がついていることなどから、毒物・異物の混入は考えられない。 ・残菜の処理は、保健所の指導・許可を受け実施。 ・今回は、保健所から指導は受けなかったが、再開にあたり委託業者の(株)東洋食品・保健所の担当者を講師に招き、配送業者や給食従事者等の衛生や健康管理・危機管理を再度確認した。
委 員	長 長	症状が出たのは、三中の生徒のみなのか？
学校給食センター長		そうです。84名の生徒はほとんどが吐き気・腹痛で下痢・嘔吐は数名。
委 員	長 長	学年・クラスは偏っているのか？

学校教育課長 委員長 学校教育課長 大和地委員 委員長 学校給食センター長	3年生1名、2年生名10名程度、1年生名60名程度 他校から報告はあったのか？ 通常朝の健康観察で一般的にある症状程度であった。 生徒の調査項目や質問方法を考えたほうがいいのか？ 84名は、全員検便などの精密検査を行ったのか？ ある程度、症状の軽い生徒には実施しなかった。保健所のルールに基づき、40名程度実施した。ノロウィルスの検査を実施し、他の細菌の検査も実施した。
全委員	了承

9 閉会宣言委員長